

令和 8 年 9 月東近江市議会定例会 発言通告一覧（一般質問）

発言順位・議員名（会派名）	1 小 梶 昌巳（無会派）
項 目	内 容
1 近江鉄道線の運賃見直しと八日市駅周辺の賑わいづくりについて	運賃について、近江鉄道線は営業キロの 1 キロメートル未満の端数を切り上げて運賃を算定されているが、法律等によって定められているか伺う。
2 市役所窓口業務時間の変更について	(1) 今回の変更の背景と目的について ア これまで窓口業務時間を変更しなかった理由を伺う。 イ なぜ今、このタイミングで変更することになったのか伺う。 ウ 今回の変更によって、具体的にどのような効果を期待しているのか伺う。 (2) 窓口の利用実態について ア 午前 8 時 30 分から午前 9 時まで、午後 4 時 30 分から午後 5 時 15 分までの時間帯に、実際にどの程度の市民が窓口を利用しているのか伺う。 イ 本庁だけでなく、各支所等についても時間帯別の利用状況を把握しているのか伺う。 ウ その利用実態を、今回の時間設定にどのように反映したのか伺う。 (3) 職員の働き方は、具体的にどう変わるのか。 ア 具体的にどのような業務効率化を図るのか伺う。 イ 時間外勤務の縮減や職員の負担軽減につながるのか伺う。 ウ 現在も夜遅くまで作業や会議をしている職員がいる中で、今回の変更によって、そのような勤務実態をどのように改善していくのか伺う。 (4) 窓口業務時間変更後の市民サービスについて ア 窓口での手続きが必要となるものにはどのようなものがあるのか伺う。 イ 事情により午後 4 時 30 分までに来庁できない市民に対して、どのような選択肢を用意しているのか伺う。
3 通学支援緊急対策について	各学校の判断で整備できる予算となっているのか伺う。

発言順位・議員名（会派名）	2 西川 清里（万葉会）
項 目	内 容
1 職員へのハラスメント防止対策について	(1) 職員のハラスメント防止対策の基本的な方針を伺う。 (2) 職員がハラスメントを受けた場合、安心して相談できる職場環境をどのように整えているのか伺う。 (3) 相談体制、職場環境の確認、管理職研修などの取組について伺う。
2 職員の相談状況とハラスメントの実態把握について	(1) 市が把握しているハラスメントの相談件数を伺う。 (2) 相談件数が少ないことについて、実際に相談を必要とする人が少ないと捉えているのか。それとも相談しづらさなどにより、表面化していない可能性もあると考えているのか伺う。 (3) 把握している相談は、どのような内容が多いのか伺う。
3 適正な指導とパワーハラスメントについて	(1) 適切な指導とパワーハラスメントをどのような基準や考え方で区別しているのか伺う。 (2) 職員が指導とパワーハラスメントの違いを理解するための研修や啓発を行っているのか伺う。 (3) 直属の上司には相談しにくい場合や初期段階でも相談できる仕組みをどのように整えているのか伺う。
4 ハラスメントを含む人権相談について	(1) ハラスメントを含む人権相談について、窓口や電話による年間の相談件数を伺う。 (2) どのような相談内容が多いのか。またハラスメントに関する年間の相談件数を伺う。 (3) 相談件数が少ない場合、相談を必要とする人が少ないと捉えているのか。それとも相談しづらさなどにより、表面化していない可能性もあると考えているのか伺う。 (4) 相談内容に応じて、関係機関につなぐ連携体制はどのようになっているのか伺う。
5 中小企業におけるハラスメントについて	(1) 市内で働く人や事業者が安心して相談できる窓口として、商工労政課の役割をどのように周知しているのか伺う。 (2) 相談実績だけでは把握できない、潜在的な相談を把握するためどのような取組が行われているのか伺う。 (3) さまざまなハラスメントについて、事業者への啓発をどのように行っているのか伺う。
6 安心して働き続けられる環境づくりについて	現在策定中の第4次男女共同参画推進計画において、女性が安心して働き続けられる環境づくりをどのように位置づけるのか伺う。

発言順位・議員名（会派名）	3 中村 和広（万葉会）
項 目	内 容
1 大規模災害時の避難所ともなる体育館への空調設備の早期整備について	(1) 中学校体育館について、令和 10 年度中の整備完了を確実な前提とした上で、可能な限り整備を前倒しし、全中学校により早く整備を完了させる考えはあるか伺う。 (2) 小学校体育館について、具体的な整備計画を策定し、できる限り早期に整備を開始する考えはないか伺う。 (3) 教室を避難所として利用しない場合、空調設備のない体育館で避難生活を続ける市民の暑熱対策をどのように行うのか伺う。 (4) 地域の体育館について、大規模改修や施設更新に合わせた整備を含め、空調設備導入の具体的な計画を策定する考えはないか伺う。
2 市職員が健康に働き続けられる職場環境について	(1) 午後 6 時以降に勤務する職員がいる執務室や共用部分について、室温や湿度などの勤務環境を把握しているか伺う。 (2) 空調について、実際の室温等も判断基準とした柔軟な運用を行う考えはないか伺う。 (3) 幼稚園教諭・保育士と事務職等の有給休暇取得日数に 3.6 日の差が生じている原因を、市としてどのように分析しているか伺う。 (4) 有給取得実績を踏まえ、現在の加配人数や職員配置が十分なのか検証する考えはないか伺う。 (5) 幼稚園教諭・保育士の退職割合が高い状況について ア どのような課題認識を持っているのか伺う。 イ 有給休暇取得日数や勤務体制との関連を分析しているのか伺う。 (6) 有給休暇の取得状況や離職率を踏まえて現在の職員配置を検証し、必要に応じて正規職員や幼稚園教諭・保育士の職員数自体を増やす考えはないか伺う。 (7) 必要な人員確保と職場環境の改善を進める考えについて伺う。

発言順位・議員名（会派名）	4 青山 孝司（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 姉妹都市・友好都市交流について	(1) それぞれの都市との交流の歴史と交流内容を伺う。 (2) 今までこの交流に関わってきた方々や実際に留学した方々が現在どのように本事業へ携わっておられるのか伺う。 (3) 若い世代を対象とした使節団交流事業を行う考えを伺う。 (4) 小・中・高校生を対象としたWEB会議による交流などに取り組む考えを伺う。 (5) 今後、経済交流を活発にしていく考えを伺う。 (6) それぞれの都市との交流が本市にもたらす影響はどのようなことがあるのか伺う。
2 新たなナンバープレート「近江ナンバー」について	(1) 「新たな図柄ナンバープレート」の制度概要について伺う。 (2) 「新たな図柄ナンバープレート」導入のメリットについて伺う。 (3) 「近江ナンバー」の導入に向けた機運醸成についての考えを伺う。
発言順位・議員名（会派名）	5 鈴木 則彦（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 東近江市地域若者交流拠点「耕」について	(1) 居心地の良い若者たちの居場所の開設に込めた狙いと現時点での手応えについて ア 開設することとなった狙いは。 イ 開設に至るまでに、若者たちの居心地の良さをどのように追求しようとしたのか。 ウ 現場でどのような手応えや気づきを感じているのか。 (2) この拠点を起点とした「若者と地域をつなぐ仕掛け」や若者の活動を応援する事業の今後の展開は。
2 地下水再認識プロジェクトについて	(1) このプロジェクトを実施するに至った経緯と具体的な実施概要は。 (2) このプロジェクトにおいて、市が目指すところは。 (3) どのような井戸をどこに何箇所設置するのか。 (4) この調査によって、どのような効果を期待しているのか。 (5) このプロジェクトによって、国や県に対し、森林の再生について問題提起をしようとする考えはあるか。

発言順位・議員名（会派名）	6 奥村 忠彦（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 災害時の生活用水確保に向けた地下水資源の活用について	(1) 井戸や湧水などの地下水資源を本市の防災上の資源としてどのように位置付けているか伺う。 (2) 非常災害用井戸や指定避難所に設置されている浅井戸について、地域ごとの登録状況をどのように分析しているか伺う。 (3) 非常災害用井戸が手薄な地域において、地下水資源を調査する考えを伺う。 (4) 非常災害用井戸を追加登録していく考えについて伺う。 (5) 鈴町にある冷泉の水源の位置や状況を把握し、水量、水質を調査・確認したことはあるのか。また、災害時の生活用水として活用できるかどうか調査を行う考えはあるか伺う。
2 「THE シガパーク」の考え方を生かした公園の魅力向上について	(1) 「THE シガパーク」の考え方について、現時点での市の見解を伺う。 (2) 市内の公園同士をつなぎ、公園の魅力向上につなげていく考えについて伺う。 (3) 東近江市総合運動公園の対話型市場調査後に事業化につながない現状について、その要因と課題をどのように認識し、今後につなげていくのか伺う。 (4) 公園の魅力向上に「公民連携」の仕組みを構築する考えを伺う。 (5) 東近江市総合運動公園を「東近江市版公民連携パーク」としてモデル事業化する考えを伺う。
発言順位・議員名（会派名）	7 大橋 保治（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 市の外郭団体等への支援について	(1) 補助金は、団体の規模や業務の特殊性など、どのような基準で積算され、金額が決定されているのか伺う。 (2) 近年の物価上昇や賃金上昇分を委託料に反映できているか伺う。 (3) 今後の外郭団体等への財政支援のあり方について見解を伺う。
2 全国都市緑化フェアを契機とした活力のあるまちづくりについて	(1) 全国都市緑化フェアの目的等を検証してはと考えるが見解を伺う。 (2) 本市のまちづくりの中で大変意味のある取組が出来ると考えるが見解を伺う。 (3) 多様な主体の参画による継続的な緑化活動について、どのよ

	うな方向で展開ができる可能性があるのか現時点での見解を伺う。 (4) フェア後に地域へ何を残し、どのような仕組みとして、定着や深化させていくことが出来るのか展望を伺う。 (5) 本市でも令和12年の全国都市緑化フェアに取り組んではと考えるが所見を伺う。
発言順位・議員名（会派名）	8 西澤 由男（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 河川愛護活動事業について	(1) 現状と課題について見解を伺う。 (2) どのような考えのもとで現行の補助制度となっているのか見解を伺う。 (3) 現時点で考えられる最良の実施方法はあるか伺う。 (4) 近い将来の支援の在り方について見解を伺う。 (5) 県に事業の現状と自治会等の要望をしっかりと伝えてもらいたいと考えるが、本市の見解を伺う。 (6) 市単独で資機材の購入等の追加支援ができないか伺う。
2 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策について	(1) 現状と課題について見解を伺う。 (2) 地域人口及び農業就業人口が減少している状況での持続可能性について見解を伺う。
3 地域保全活動の持続性の回復について	希薄になった河川や農地との関係の再構築が要となるのではないかと考えるが見解を伺う。
発言順位・議員名（会派名）	9 田井中 丈三（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 新たな防災気象情報の発表、避難情報の発令及び防災情報告知放送システムの運用について	(1) 新たな防災気象情報と従来の防災気象情報との違いについて伺う。 (2) 新たな防災気象情報の意味は。特に警戒レベルの意味・意図について伺う。 (3) 避難情報の種類及びその意味・意図について伺う。 (4) 避難所は、どの警戒レベル又はどのような状況で開設されるのか伺う。 (5) 防災情報の住民への確実な伝達についての手段について伺う。 (6) 防災情報告知放送システムの更新時期と改善点について、防災の観点と地域コミュニティの観点から伺う。

2 有害鳥獣・外来生物の駆除について	(1) 現在伊庭内湖上流部に繁茂し、水面を覆いつくしている水草の内、外来種はどの程度の割合で存在するか伺う。 (2) 伊庭内湖の水草について、今年度の駆除の範囲等、作業の費用や量を伺う。 (3) 伊庭内湖の水草は、来年度以降も引き続き駆除する必要があるが、見解を伺う。 (4) 農地や排水路への外来種の侵入状況とその対策の指導内容を伺う。 (5) 外来動植物・有害鳥獣駆除の必要性に対する状況や課題について見解を伺う。
発言順位・議員名（会派名）	10 森 鉄兵（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 旧市辺コミュニティセンターの今後の活用について	(1) 現在の所管部署と管理状況を伺う。 (2) これまでどのような検討が行われてきたのか伺う。 (3) 現時点でどのような方向性を想定しているのか伺う。 (4) 今後、どのような体制と手続で検討を進め、いつ頃までに方針を決定する予定なのか伺う。
2 近江牛学校給食等提供事業について	(1) 令和8年度に本市が県から受ける補助額を伺う。 (2) 令和7年度の近江牛給食の提供について ア 提供回数は。 イ 献立の内容は。 ウ 各献立における児童1人当たりの使用量は。 エ 100グラム当たりの購入価格は。 (3) 提供する近江牛について ア 部位や品質などの条件は。 イ 納入業者及び購入価格の決定方法は。
3 クビアカツヤカミキリ対策について	(1) 市内で被害を疑う事例が確認されているか伺う。 (2) 市が管理する桜等について、調査や監視を行っているか伺う。 (3) 農業者への周知や、果樹園における発生状況の把握、監視を行っているか伺う。 (4) 速やかに防除へ着手できる体制を整えておくべきと考えるが、市の見解を伺う。
4 公共施設・公共空間における設計者選定のあり方について	(1) 競争入札とプロポーザル方式の使い分けについて伺う。 (2) 選定方式の採用について、誰が、どの段階で、どのような事項を考慮して決定しているか伺う。 (3) プロポーザル方式の採用について、全庁的な判断基準や実施要領などを定めているか伺う。

発言順位・議員名（会派名）	11 澤居 寛明（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 窓口受付時間短縮と実際に利用できる行政ＤＸについて	(1) 今回短縮される時間帯にどれだけの市民が窓口を利用していたのか。 (2) どのように利用実績を把握し、市民への影響を検証した上で変更を決定したのか。 (3) 電子申請に対応している 221 件の手続の内訳は。 (4) 申請から完了まで一度も来庁せずに完結できるものは何件あるのか。 (5) 電子申請に対応した手続について実際の利用件数とオンライン利用率をどのように把握しているのか。 (6) オンラインでできる手続をわかりやすく一覧化し、明示する考えは。
2 幼稚園教諭・保育士の勤務環境について	(1) 保育士等の確保と定着に向け、どのような検討や改善を進めてきたのか。 (2) 勤務環境の改善に加え、給与面を含めた待遇改善を検討する考えは。 (3) 令和 9 年度予算編成に向け、具体的な取組を予算に反映する考えは。
3 住宅用火災警報器の更新と感震ブレーカーの普及について	(1) 市内における住宅用火災警報器の設置状況は。 (2) 交換や動作確認の状況をどのように把握しているのか。 (3) 高齢者世帯など、自ら点検や交換を行うことが難しい世帯への啓発や支援は。 (4) 感震ブレーカーの普及状況と啓発活動の取組状況は。 (5) 高齢者世帯や木造住宅密集地、防火地域などの必要性の高い世帯を対象として、購入費や設置費を支援する制度を検討する考えは。
4 職員の政策研修旅費とオンライン会議環境について	(1) 国や県の説明会や先進政策研修などへ職員が参加するための旅費は十分に確保されているのか。 (2) 近年の予算額と執行状況は。 (3) 旅費不足を理由に参加を見送ることがないよう、柔軟に対応できる仕組みとなっているのか。 (4) オンライン会議やオンライン研修を安定して行うための会議室と設備の整備状況は。 (5) オンライン会議環境のさらなる整備の考えは。

5 自治会施設 L E D 化支援補助金の申請状況と今後の継続性について	(1) 市内自治会施設のうち、L E D 化未実施の施設数及び予算要求時の申請見込みは。 (2) 現時点での申請自治会数、申請額、予算執行状況は。 (3) 先着順で支援の有無が決まることをどう考えているか。 (4) 令和 9 年度も補助制度を継続する考えは。
発言順位・議員名（会派名）	12 山本 直彦（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 学校規模適正化に係る庁内検討委員会について	(1) 委員会の設置目的と役割を伺う。 (2) 構成メンバーを伺う。 (3) 学校規模適正化の意味を伺う。 (4) どのような議論がされているのか伺う。 (5) 関係する各地区に期待することを伺う。
2 主食の災害時応援協定について	(1) これまでの協定締結先で主食の提供を可能とするものはどれだけあるか伺う。 (2) 滋賀県学校給食協同組合から納入されている主食の数を伺う。 (3) 滋賀県学校給食協同組合との災害時応援協定が有効と考えるが、市の見解を伺う。
3 市内小中学校体育館の空調設備整備について	(1) 変更になった点を伺う。 (2) 計画が前倒しになった理由を伺う。
4 愛東地区周辺の主要な道路整備の進捗状況について	(1) 御河辺橋架け替えを含む、県道雨降野今在家八日市線道路整備事業の進捗状況と今後の計画を伺う。 (2) 県道中里山上日野線道路整備事業（愛東外バイパス）の進捗状況と今後の計画を伺う。 (3) 国道 307 号バイパス道路整備事業の進捗状況と今後の計画を伺う。
5 愛知川を渡河する新たな橋梁の整備について	(1) 新たな橋梁を含むバイパス道路整備（案）の内容を伺う。 (2) 新たな橋梁に期待する効果を伺う。
発言順位・議員名（会派名）	13 西崎 彰（東近江市民クラブ）
項 目	内 容
1 開庁時間の短縮と職員の採用状況について	(1) 県内の自治体における、窓口開庁時間の短縮の状況は。 (2) 窓口開庁時間の短縮によって、市民サービス低下の懸念はないか。 (3) 手続きに来庁しなくてもよい、あるいは用紙に署名や捺印を

	して提出しなくてもよいといった市民サービスを向上させるための、マイナンバー等と連携したDX化の進捗状況は。 (4) 次年度に採用する一般職及び専門職の応募状況と安定的な確保対策の状況は。 (5) 慢性的な人材不足となっている業種はあるか。またその対策は。
2 災害時応援協定の締結状況とメリットについて	(1) 災害発生時等に備えて、市と企業等とが協定を締結することによる本市のメリットはどのようなものがあるか。 (2) 毎年予算措置など歳出を伴うような協定は存在するか。 (3) 企業や団体と締結した協定の総数、締結期間、無償・有償を含め支援内容の内訳はどのようなものか。 (4) 協定を締結していることによって、市内事業者にとって事業展開や営業活動に支障が生じるような事例はないか。 (5) 締結した協定は、時代の流れや社会の変化に応じて定期的に見直しているか。 (6) 実効性が見込めない協定等については、今後どのようにしていくのか。
発言順位・議員名（会派名）	14 山下 敦司（公明党）
項 目	内 容
1 校庭芝生の持続可能な維持管理について	(1) 市内の校庭芝生と整備体制について、芝生化された学校数、管理人の人数と年齢構成、年間作業日数及び維持管理費を伺う。 (2) 芝生管理を将来にわたって維持していくための対応策を伺う。 (3) 本市で導入しているロボット芝刈機について、学校数、省力化の効果及び維持管理コストについて伺う。
2 学校再編と地域協働による特色ある学校づくりについて	(1) 統廃合を検討する際の基準となる学校規模について、小学校・中学校それぞれの考え方を伺う。 (2) 統廃合の基準に該当する学校及び今後該当する可能性のある学校は。また、統廃合に向けた進捗状況を伺う。 (3) 今後の学校の在り方を検討する上で、保護者や地域住民との合意形成をどのように進めるのか。その取組の方針を伺う。
3 木造住宅の耐震改修促進について	(1) 木造住宅耐震診断員派遣事業について ア 過去5年間の希望件数と実施件数を伺う。 イ 過去5年間に木造住宅耐震改修等事業費補助金の対象となる程度の耐震性能と診断された住宅の件数を伺う。 (2) 木造住宅耐震改修等事業費補助金について ア 補助金の内容を伺う。

	イ 過去5年間の交付件数を伺う。 (3) 個人木造住宅への耐震シェルター等の普及事業費補助金について ア 補助金の内容を伺う。 イ 過去5年間の希望件数と交付件数及び耐震シェルター、防災ベッドそれぞれの件数を伺う。 (4) 木造住宅耐震改修等事業費補助金の代理受領制度を導入する考えを伺う。
発言順位・議員名（会派名）	15 吉坂 豊（公明党）
項 目	内 容
1 社会福祉法等改正法成立に対する社会福祉協議会への支援について	身寄りのない高齢者や頼れる身内がない人の生活を支える社会福祉法等改正法成立に対する市社協の体制強化等への支援策を伺う。
2 ごみ出し・家具処分における支援について	(1) 大型ごみの搬出方法を伺う。 (2) テレビや洗濯機などの家電製品の搬出方法を伺う。 (3) リチウムイオン電池などの小型充電式電池の回収方法を伺う。 (4) 高齢者世帯、単身高齢者世帯、障がい者世帯等、自身で大型ごみや家電製品、小型充電式電池のごみ出しが困難な世帯への支援について ア 市の支援制度とその内容は。 イ 対象者は。 ウ 利用するに当たっての手続きと費用は。 (5) 一般家庭用ごみを自宅から指定のごみステーションまで出しに行くことが困難な世帯に対して現在、どのような支援ができるか伺う。
3 持続可能な墓地行政について	(1) 改葬許可申請件数の5年間の推移を伺う。 (2) 公営墓地での墓じまいの5年間の件数を伺う。 (3) 公営墓地の空き区画数と管理料滞納件数と未納額を伺う。 (4) 本市の独居高齢者世帯の5年間の推移を伺う。 (5) 墓地、埋葬等に関する法律第9条による高齢者の火葬・埋葬の5年間の推移を伺う。 (6) 民間や地域で維持できなくなった共同墓地に対する市の支援策を伺う。

4 身寄りのない高齢者が亡くなった場合の対応について	本市の市営住宅などで、身寄りのない高齢者が亡くなった時の遺品整理や火葬・埋葬の現状と対応を伺う。
発言順位・議員名（会派名）	16 山中 一志（日本共産党議員団）
項 目	内 容
1 防災について	(1) 防災備蓄倉庫等について ア 備蓄倉庫の所在地は適正か。 イ 備蓄品の種類及び数量は適正か。 ウ 市役所本館前の防災トイレの有効活用についての考えは。 (2) 避難所の環境は十分か。 (3) 空調設備導入スケジュールについて ア 中学校体育館への設置スケジュールは。 イ 小学校体育館へのスケジュールを示す考えは。 (4) 防災情報告知放送システムの普及状況と問題点は。 (5) 水道・下水道の耐震化状況は。 (6) 豪雨等、水害について ア 線状降水帯発生による豪雨にも対応した浸水想定となっているのか。 イ 警報レベルが出された際にとるべき行動の周知はどのように行うのか。
2 エアコン設置について	(1) 市営住宅へのエアコン設置について ア 自費での設置率は。 イ 公費での設置についての考えは。 (2) 自宅（自己居住用）のエアコン設置について ア 省エネ家電購入促進補助金の申請状況は。 イ 住まいる事業にエアコン購入補助制度を創設する考えは。
3 地域公共交通計画の中間見直しについて	(1) アンケートやヒアリングの調査結果は。 (2) アンケートやヒアリングの調査結果をどのように反映するか。 (3) 住民からの要望をどのように捉え、課題解決に取り組むのか。
4 自治振興事業について	自治会施設LED化支援補助金の申請状況は。また、従来の自治会活動支援補助金との手続きの違いは。

発言順位・議員名（会派名）	17 田郷 正（日本共産党議員団）
項 目	内 容
1 蒲生医療センターの病院化で、地域医療は本当に守られるのか	(1) 政策的医療について ア 東近江市蒲生医療センター等の管理運営に関する基本協定書の内容に変更はあるのか。 イ 同基本協定書第7条第1項が示す、総合家庭医の充実、訪問診察（看護）の充実、居宅介護の充実、訪問並びに通所によるリハビリの充実、予防医療の充実、家庭医療の後方支援の充実の内容について変更はないか。 ウ 病院化後に政策的医療交付金はどの程度増加すると見込んでいるか。また、具体的な積算根拠はあるのか。 (2) 診療体制について ア 外科や眼科の受診はできるようになるのか。 イ 病院化に必要な医師、看護師等の必要人数はそれぞれ何人か。また、開院時点で必要な人員を確保できるのか。 ウ 救急患者を受入れできる体制になるのか。 (3) 入院受入れについて ア 病院化と同時に35床全てを稼働させるのか。 イ 乳がん治療入院に何床の使用を考えているのか。 ウ レスパイト入院を含む一般診療入院は従来どおり利用できるのか。 (4) 患者数など具体的な数値目標を定め、その達成状況を市民に公表すべきと考えるが、見解を伺う。
2 米価下落への具体的な対策について	(1) 農業者への実態調査をすることへの見解は。 (2) 肥料や燃料高騰分等への緊急支援対策をとることへの見解は。 (3) 国に「農家への所得補償と価格保証の実現」を強く求めることへの見解は。
3 近江鉄道八日市駅東西連絡通路整備と延命公園整備について	(1) 近江鉄道八日市駅東西連絡通路について ア 契約の入札事業者数、落札業者名、落札金額は。 イ 予想利用者数に変更はないか。 ウ 近江鉄道八日市駅東西連絡通路西側の株式会社近江鉄道の所有地の使用面積はどれくらいか。また、費用は。 (2) 延命公園整備事業について ア 契約の入札事業者数、落札業者名、落札金額は。 イ 予想利用者数に変更はないか。 ウ 延命公園整備事業予定地の土砂災害警戒区域と土砂災害特

	別警戒区域への対策は。 エ 延命公園整備予定地の地質調査や水流の調査は行ったのか。 オ 延命公園整備予定地の上にある「八日市中区配水池」への安全対策は十分か。
発言順位・議員名（会派名）	18 安田 高玄（太陽クラブ）
項 目	内 容
1 「東近江市を輝かせ、魅力あるまちづくり」について	(1) 太郎坊宮の活用について ア 「太郎坊チャレンジ」への市の動きや思いについて伺う。 イ 新たな取組やイベント計画について伺う。 (2) 道の駅について ア 「あいとうマーガレットステーション」のコンセプト及びアピールポイントについて伺う。 イ 「あいとうマーガレットステーション」の年間訪問者数及びイベント内容とイベント時の訪問者数について伺う。 ウ 「奥永源寺溪流の里」のコンセプト及びアピールポイントについて伺う。 エ 「奥永源寺溪流の里」の年間訪問者数及びイベント内容とイベント時の訪問者数について伺う。 オ 「奥永源寺溪流の里」に隣接する国道 421 号の整備による新たなイベント企画やイベント事業の考えについて伺う。 (3) 延命公園整備について ア コンセプトの具体的な想いや内容について伺う。 イ 地元住民からの意見聴取について伺う。 ウ 年間、総利用者（訪問者）数を伺う。 エ 新たなイベント事業の実施予定について伺う。 (4) 遊休農地の活用について ア 農家数の推移を伺う。 イ 遊休農地の推移を伺う。 ウ 景観を兼ねた「ひまわり」「コスモス」「菜の花」等の作付けを推奨する動きについて伺う。 エ 景観作物を活用したイベントの考えを伺う。 (5) 八日市文化芸術会館の今後の整備への思いや計画について ア 大規模修繕の考えなのか、現在地での建て替えか、新たに移転建築の考えなのか伺う。 イ どのようなコンセプトで、席数などの規模感についての現時点での見解を伺う。

	(6) 県産業用地開発事業について ア 現状の動きについて伺う。 イ 本市の企業誘致の思いを伺う。
発言順位・議員名（会派名）	19 松本 喜美（太陽クラブ）
項 目	内 容
1 避難行動要支援者への支援と個別避難計画について	(1) 令和7年6月以降の避難行動要支援者名簿への登録者数、個別避難計画の作成人数、作成率について、その後の推移は。 (2) 個別避難計画の具体的な作成手順は。 (3) ケアマネジャー、相談支援専門員、訪問看護師などの福祉・医療専門職は、個別避難計画の作成にどのように関わっているのか。 (4) 個別避難計画を優先して作成する対象者は、どのような基準で決めているのか。 (5) 作成した個別避難計画は、いつ、誰が、どのような方法で見直しを行っているのか。 (6) 災害時対応ノートと個別避難計画の役割の違いは。 (7) 本人の同意を前提に、災害時対応ノートと個別避難計画を連携させる仕組みはあるのか。 (8) 指定避難所への避難が困難な場合、個別避難計画で避難先を調整し、福祉避難所等へ直接避難できる仕組みを検討する考えは。
2 低年齢化するスマートフォン利用と、子どもを守るデジタル化に対応した消費者教育について	(1) 市内の小中学生のスマートフォンの所持状況、ゲームやSNSの利用状況、利用時間の実態把握は。 (2) 市消費生活センターに対する未成年者によるオンラインゲームへの課金、SNSでの契約、商品購入、詐欺などの相談について、過去5年間の件数と、その年代、内容、金額は。 (3) 小中学校における情報モラル教育の内容は。また、内容の見直し及び更新はどのようにしているのか。 (4) 保護者への情報提供や啓発の機会をどのように作っているのか。 (5) デジタル社会を安全に生きていくのに必要な力をつけるため、関係機関が連携して子供の発達段階に応じた教育を進めていく展望はあるか。

発言順位・議員名（会派名）	20 戸嶋 幸司（太陽クラブ）
項 目	内 容
1 まちづくり協議会について	(1) 近年の各まちづくり協議会の主な活動内容とその活動をどのように評価しているのか。 (2) 近年のまちづくり協議会が抱える課題をどのように捉えているのか。
2 集落支援員制度について	(1) この制度をどのように評価しているのか。 (2) 集落支援員制度を積極的に活用し、地域の伴走役となる人材を配置する考えは。